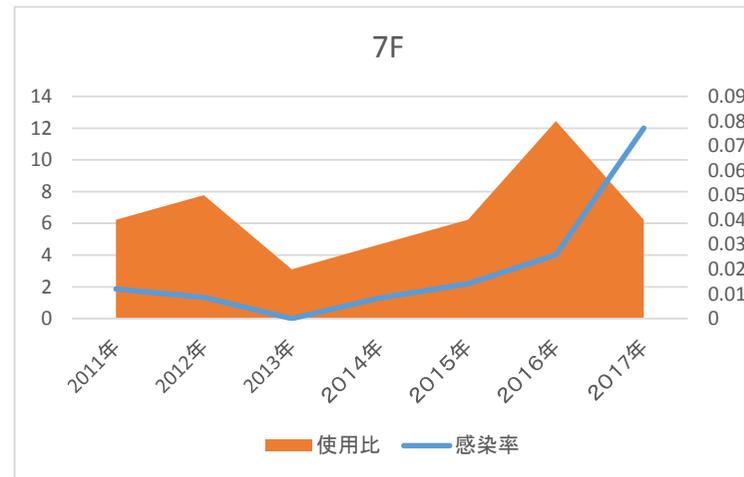
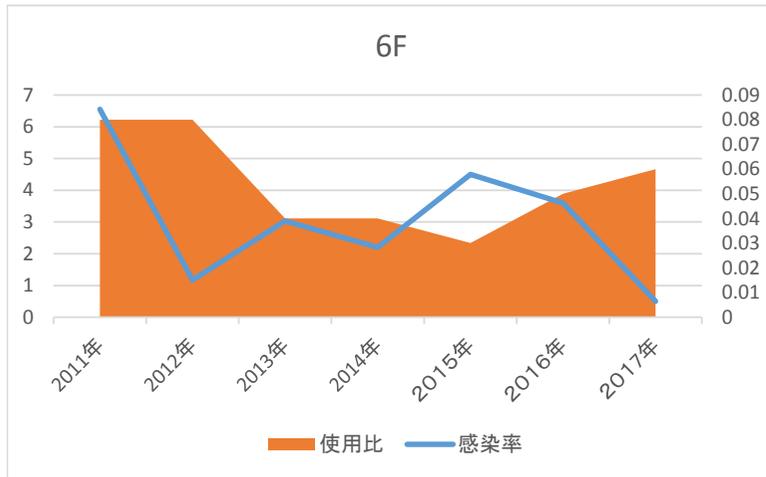


2017: 中心静脈カテーテル関連感染症サーベイランス結果年間比較

あおもり協立病院
院内感染対策委員会
2018.1

1. 実施場所：6・7F
2. 実施期間：2011年1月～2017年12月
3. 方法：サーベイランス計画書に基づき、データ収集し標準の診断基準に基づきデータを算出する
4. 計算方法：感染率：感染数/デバイス使用日数×1000 ②デバイス使用比：デバイス使用日数/入院患者延べ数
5. 年間の平均
50%タイトル値 使用比： 0.42 感染率：6

6F	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	7F	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
感染率	6.55	1.17	3.03	2.2	4.5	3.6	0.5	感染率	1.87	1.34	0	1.3	2.2	4.01	12
使用比	0.08	0.08	0.04	0.04	0.03	0.05	0.06	使用比	0.04	0.05	0.02	0.03	0.04	0.08	0.04



<まとめ>

・2017年3月からマキシマルバリアアプリケーションの使用物品のセット化を開始した。今後、使用状況と合わせて評価していく。
使用比が減少傾向であるなか、1件でも感染症例が発生すると外れ値になってしまうため、データとわせて、ケースごとの対応から、実践できていない対策について評価する。次年度は、ドレッシング材交換のオスキーを実践していきたい